

(様式2)新規評価シート

建設部 道路管理課

事業名	県単交通安全施設等整備事業		路河川名等	(一)荻窪丸子線		
事業毎の通番	3	市町村名	上田市	箇所名(ふりがな)	下和子(しもわご)	
事業概要	事業目的	本路線は上田市と松本市を結ぶ幹線道路である。 当該箇所は、自動車交通量(特に大型車)が多く、丸子中央小学校の通学路に指定されているが、大型車の混入に伴い通学時の児童の安全が脅かされているため、歩道を整備し安全な歩行空間を確保する。				
	しあわせ信州創造プランにおける位置付け	第5編 施策の総合的展開 第4章 4-2 県民生活の安全確保 第5章 5-2 快適で暮らしやすいまちづくり	事業実施の根拠法令等	社会資本整備重点計画法 交通安全施設等整備事業に関する法律		
	関連する事業、計画等	H24通学路緊急合同点検				
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	丸子中央小学校 通学者他 観光客 現況自動車交通量:6,913台/日、現況自転車歩行者交通量:34台・人/12h				
	着手年度	平成27年度	事業期間	4年間		
	完成年度(見込み)	平成30年度	費用対効果	-		
	全体事業内容(主な工種)	歩道設置工(片側) L=40m W=2.0m	事業費(千円)	30,000	-	-
	年度事業内容(主な工種)	測量・設計 1式	1,000	-	-	1,000
	事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	利用者の安全確保、特に通学児童の交通事故の減少が期待される			
		間接的効果(定量的・定性的)	通行車両の交通事故抑制			
評価の視点	必要性	○現況自動車交通量 : 6,913台/日 ○現況自転車歩行者交通量 : 34台・人/12h	評価	B		
	重要性	○関連計画、重点施策との整合 : 1つ整合(通学路緊急合同点検(H24)) ○緊急輸送道路の路線指定 : なし	評価	A		
	効率性	○事業期間 : 4年間(H27~H30)	評価	B		
	緊急性	○近年の交通事故件数 : なし ○通学路対策 : H24緊急合同点検を踏まえた対策箇所(上田市立丸子中央小学校) ○現況の歩道幅員 : 歩道なし	評価	B		
	計画熟度	○事業情報の共有 : 関係者を中心に周知 ○地域の取り組み : 協力的である。(地域住民や市町村から事業計画に対して要望あり) ○地域の合意形成 : 事業目的について合意形成が図られている ○住民との協働 : 住民参加により交通安全対策を検討している	評価	B		
	部意見	交通量の多い路線であるが歩道がなく、この事業で横断歩道部のたまり場を設置し、横断歩道を渡る通学児童の危険を軽減できるため、事業実施の効果が高い。	行政改革課意見	重要性が認められる。	評価結果	総合評価
				○	B	

位置図

標準横断面図

状況写真

平面図

事業概要説明図表

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	当該箇所は、丸子中央小学校の通学路であり、歩道がなく危険な状況。H24通学路緊急合同点検の要対策箇所になっている。
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	地元地区からも上田市市を通じて歩道設置の要望が出されている。
③事業説明等の経緯	特になし
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	長野県地域防災計画(第1次緊急輸送路)
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	歩道整備により生活環境に配慮した地域づくりに寄与できる。
⑥地域活性化への影響と配慮	歩行者の安全確保が図られ、安全に配慮した地域づくりに貢献でき、地域の活性化につながる。
⑦その他	特になし

事業代表地点の緯度経度

北緯:N	36° 18' 51"
東経:E	138° 14' 29"